

MD&A情報における「トピック」の分析

中野 貴之
五十嵐 未来
湯浅 大地

目 次

- | | |
|-----------------------------|---------|
| 1. はじめに | 4. 検証結果 |
| 2. MD&Aの制度変遷と研究の視点 | 5. おわりに |
| 3. データの収集、サンプルの選択およびトピックの分類 | |

本稿は、MD&Aの記載内容がどのように変化してきているかを、トピックモデルを用いて検証した。その結果、近時のディスクロージャー制度改革に伴い、経営戦略および会計上の見積等に関する記述が充実したことを示す証拠を得た。また経営者は、同改革後、より幅広いトピックについて議論するようになったことを示唆する証拠も得た。当該発見事実は、近時のディスクロージャー制度改革がMD&A開示に、決して小さくはないインパクトを及ぼしていることを示唆している。



中野 貴之 (なかの たかゆき)

法政大学キャリアデザイン学部教授、博士（商学）早稲田大学。法政大学准教授などを経て現職。日本会計研究学会評議員、日本経済会計学会常務理事。金融庁金融審議会ディスクロージャーワーキング・グループ専門委員などを歴任。最近の研究業績として、「四半期開示制度に関する実証研究の証拠」（『会計』202(2)、2022年）、『IFRS適用の知見—主要諸国と日本における強制適用・任意適用の分析—』（編著、同文館出版、2020年）などがある。



五十嵐 未来 (いがらし みらい)

筑波大学ビジネスサイエンス系博士研究員、博士（経営学）東北大学。2021年東北大学大学院経済学研究科後期博士課程修了。研究業績として、「ソーシャルメディア上のテキスト情報を考慮した社会ネットワーク分析モデル—次数異質性モデルへの拡張—」（共著、『統計数理』69(1)、2021年）、「Characterization of topic-based online communities by combining network data and user generated content」（共著、*Statistics and Computing* 30(5)、2020年）がある。



湯浅 大地 (ゆあさ だいち)

㈱ビジネスサポート勤務。2014年法政大学キャリアデザイン学部卒業。研究業績として、「SNSによる決算関連情報の発信と投資家の反応」（日本会計研究学会特別委員会『情報関連技術の進展と財務会計に関する研究（最終報告）』共著、2022年）、「有価証券報告書における記述情報の分析—『情報更新度』の推移—」（共著、『Disclosure & IR』20、2022年）がある。